



グリーンクラブだより 稲の収穫のご報告

▶ ①田植え

2021.5.21



※育てた場所は
2ページ目のマップ参照

4/25から土作りから始まり、5/21に田植えを行いました。雨の中の作業になりましたが、看板も設置しました。

▶ ②成長

2021.7.11



7月頃の稲穂は、まだ実っていませんがずいぶん大きくなりました。

▶ ③収穫

2021.10.16



この日は、雨の中の作業となりましたが、無事収穫しました。稲穂もたわわに実っています。

▶ ④脱穀

2021.10.31



乾燥させてから脱穀作業もクラブ内で行いました。手作業で行うのは一苦労です。

お米を育つまでには、およそ5～6か月

お米を育てるのには、地域や気象条件の違いによっても変わってきますが、種まきからかりとりまで、およそ5～6か月かかります。米づくりはまず苗（なえ）作りから始まります。農家の間では「苗半作（なえはんさく）」という言葉があります。これは、丈夫な苗をつくれれば、米づくりの半分は終わったという意味で、それほど苗づくりは重要です。種まきから1か月ほどするとおよそ10センチメートルくらいの苗に育ちます。

この中から丈夫なものを選んで、田んぼの中に田植えをします。

田植えをされた稲は、取り入れられるまでおよそ120日～140日田んぼの中にいます。その間、水を必要とする時期と水を必要としない時期（田んぼからわざと水をぬいてしまいます）があります。農家の人は、水の管理のほかにも、農薬をまいたり、草取りをしたり、台風などに注意しながら大切に育てていきます。

1つのモミ(籾)から500粒(茶碗6分の1杯)のお米に

1つのモミから約70粒(※1)の実る穂が7本程度できるので、1粒のお米（モミ）からはおよそ、500粒のお米がでます。たった6粒でお茶碗一杯分(※2)になるすごいチカラを持っています。

※1品種により70粒～200粒と異なります。今回収穫したものは、実際の田んぼで育てるより収穫量は減るため、1本あたり70粒に満たないと思われます。

※2茶碗一杯は、3,000粒程度（精米65g）として計算しています。